

戸谷成雄 CV

1947年 長野県生まれ

埼玉県在住

個展

2025	「視線体：半彫刻」 シュウゴアーツ（東京） 「変容 - 連結 - 転位 - 対比」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2022- 2023	「戸谷成雄 彫刻」 長野県立美術館（長野）/埼玉県立近代美術館（埼玉）
2022	「視線体：散から連 連から積」 シュウゴアーツ（東京）
2021	「戸谷成雄 森—湖：再生と記憶」 市原湖畔美術館（千葉） 「視線体—連」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2019	「視線体」 シュウゴアーツ（東京）
2018	「戸谷成雄 新作展—直方体の三等分・四等分」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2017	「戸谷成雄——現れる彫刻」 武蔵野美術大学 美術館・図書館（東京）
2016	「森X」 シュウゴアーツ（東京） 「断層体」 ケンジタキギャラリー（名古屋） 「レリーフ的」 スペース 23°C（東京）
2015	「第39回中原悌二郎賞受賞展」 中原悌二郎記念旭川彫刻美術館（北海道）
2014	「ミニマルバロックⅧ——漢詩的」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2012	「連句的 IV」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2011	「洞穴の記憶」 ヴァンジ彫刻庭園美術館（長泉、静岡）
2010	「ミニマルバロックⅦ」 ケンジタキギャラリー（名古屋） 「戸谷成雄展——橋本平八と北園克衛展 関連企画」 三重県立美術館（津） 「ミニマルバロックⅥ」 シュウゴアーツ（東京）
2009	「ミニマルバロックⅤ」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2008	「ミニマルバロックⅢ」 シュウゴアーツ（東京）
2007	「ミニマルバロックⅡ」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2006	「戸谷成雄——大きな森」 宮崎県立美術館（宮崎） 「ミニマルバロック」 シュウゴアーツ（東京）
2005	「森のくにの物語—戸谷成雄〈もうひとつの森へ〉」 長野県信濃美術館（長野） 「森化 2005」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2004	「射影体」 シュウゴアーツ（東京）
2003	「森化」 ケンジタキギャラリー（名古屋） 「戸谷成雄 森の襞の行方」 愛知県美術館（名古屋）
2002	「連句的——発句としての70年代 戸谷成雄展」 入善町下山芸術の森 発電所美術館（富山） 「戸谷成雄 新作展」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
2001	「戸谷成雄——さまよう森／開館記念展」 国際芸術センター青森（青森） 「戸谷成雄新作彫刻展」 ライスギャラリーby G2（東京）

2000	「戸谷成雄 新作展」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
1999	「戸谷成雄 新作展」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
1998	「《境界》から VI」 佐谷画廊（東京） 「《境界》から V」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
1996	「《境界》から IV」 天画廊（福岡） 「《境界》から III」 佐谷画廊（東京） 「連句的II」 ケンジタキギャラリー（名古屋）
1995	「第17回平櫛田中賞記念 戸谷成雄展」 井原市立田中美術館（岡山） 「連句的I」 ケンジタキギャラリー（名古屋） 「視線の森」 広島市現代美術館（広島）
1994	「戸谷成雄 新作展」 佐谷周吾美術室（東京） 「《境界》から I：個体・家・皮膚」 佐谷画廊（東京） 「見られる扉II」 ケンジタキギャラリー（名古屋） 「〈山 — 森 — 村〉 戸谷成雄」 町立久万美術館（愛媛）
1993	「戸谷成雄展」 テンポラリースペース #027（北海道） 「戸谷成雄新作展」 佐谷画廊（東京）
1992	天画廊（福岡） 「分立するトリニティー」 ギャラリー白（大阪） 「見られる扉I」 佐谷周吾美術室（東京） 「戸谷成雄新作展」 佐谷画廊（東京） 「戸谷成雄展—〈村〉から」 芦屋市立美術博物館（兵庫）
1991	「戸谷成雄」 トーマス・ソロモン・ガレージ（ロサンゼルス、アメリカ）
1990	「戸谷成雄新作彫刻展」 佐谷画廊（東京） 「戸谷成雄展」 創庫美術館 点（新潟）
1989	「戸谷成雄展—新作彫刻」 コンセプトスペース R2（群馬） 「戸谷成雄展—新作彫刻」 コンセプトスペース（群馬） 「戸谷成雄 新作展」 佐谷画廊（東京） 「第1回朝倉文夫賞 戸谷成雄展—彫刻・ドローイング」 上野松坂屋（東京）
1988	「湿地帯」 天画廊（福岡）
1987	「戸谷成雄展 1984-1987」 佐谷画廊（東京）
1986	「Shigeo TOYA」 NEWZ（東京） 「戸谷成雄展」 藍画廊（東京） フー・ギャラリー（ソウル、韓国）
1985	「戸谷成雄展」 藍画廊（東京）
1984	「地下の部屋」 NEWZ（東京） 「地下の部屋」 藍画廊（東京）
1983	「夢の跡」 鎌倉画廊（東京） 「夢の跡——水辺」 天画廊（福岡） 「《彫る》から」 ときわ画廊（東京） 「《彫る》から」 藍画廊（東京）
1982	「《彫る》から」 ギャラリー N A F（愛知） 「重ねる—那賀裕子+貞彦、戸谷成雄」 神戸現代美術ギャラリー（神戸）

	「《構成》から」 藍画廊（東京）
1981	「《構成》から」 ときわ画廊（東京）
1980	「《彫る》から」 ときわ画廊（東京） 「《構成》から」 藍画廊（東京）
1979	「戸谷成雄《彫刻》展」 ギャラリーL（豊橋、愛知） 「〈画像企画〉戸谷成雄展」 楡の木画廊（東京） 「《彫る》から」 ときわ画廊（東京）
1978	「仮設の〈彫刻〉Ⅲ」 真木画廊（東京） 「仮設の〈彫刻〉Ⅰ」 楡の木画廊（東京） 「露呈する〈彫刻〉Ⅳ」 楡の木画廊（東京）
1977	「露呈する〈彫刻Ⅶ〉」 楡の木画廊（東京） 「露呈する〈彫刻Ⅵ〉」 ギャラリーU（名古屋）
1976	「露呈する〈彫刻Ⅲ〉」 田村画廊（東京） 「露呈する〈彫刻Ⅰ〉」 ギャラリーU（名古屋）
1975	「借用書Ⅱ」 ときわ画廊（東京）
1974	「POMPEII・79」 ときわ画廊（東京）

グループ展

2025	「ShugoArts Show—スプラウト」 シュウゴアーツ（東京） 「ShugoArts Show—手法は語る」 シュウゴアーツ（東京）
2024	Art Week Tokyo FOCUS「大地と風と火と：アジアから想像する未来」 監修：片岡真実、大倉集古館（東京） 「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ（東京）
2023	Art Week Tokyo FOCUS「平衡世界 日本のアート、戦後から今日まで」 アーティスティックディレクター：保坂健二郎、大倉集古館（東京）
2021	「シンビズム 4 信州ミュージアム・ネットワークが生んだ作家たち」 上田市立美術館（長野） 「オムニスカルプチャーズ——彫刻となる場所」 武蔵野美術大学美術館（東京）
2020	「Public Device——彫刻の象徴性と恒久性」 東京藝術大学大学美術館 陳列館（東京） 「市制施行 70 周年記念事業 ところざわ アートの潮流」 所沢市民文化センター ミューズ（埼玉） 「芦屋の時間 大コレクション展」 芦屋市立美術博物館（兵庫） 「ドローイングの可能性」 東京都現代美術館（東京）
2019	「愛知県美術館リニューアル・オープン記念 全館コレクション企画アイチアートクロニクル 1919-2019」 愛知県美術館（愛知） 「縄文シャワー展示室展Ⅲ」 丘の上 APT / 児嶋画廊（東京） 「コレクションハイライト 2 1945 年以降の現代美術」 福岡市美術館（福岡） 「新たな木彫表現を求めて——平櫛田中賞受賞の作家たち」 名古屋市美術館（愛知） 「空間に線を引く——彫刻とデッサン展」 平塚市美術館（神奈川）/ 足利市美術館（栃木）/ 碧南市藤井達吉現代美術館（碧南、愛知）/ 町立久万美術館（久万高原、愛媛）
2018	「海外姉妹都市作品交流展 This Side of Paradise 楽園のこちら側」 安養美術館（韓国） 「久万美 いま 30th：第 2 部 久万コレクション」 町立久万美術館（愛媛）

	「起点としての 80 年代」金沢 21 世紀美術館（石川）/高松市美術館（高松）/静岡市美術館（静岡） 「ウェザーリポート 風景からアースワーク、そしてネオ・コスモグラフィア」栃木県立美術館（栃木） 「アート遊覧紀行——自然と人間をめぐって」群馬県立館林美術館（群馬） 「アートを発信する——原美術館発国際巡回展の軌跡」ハラミュージアムアーク現代美術ギャラリー（渋谷、群馬） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京） 「初代館長針生一郎 没後 7 周年記念 金津創作の森 館蔵品展」金津創作の森 アートコアミュージアム-1・ギャラリー（あらわ、福井）
2017	「開館三十五周年記念 プレミアム・コレクション」北海道立旭川美術館（旭川） 「シュウゴアーツショー——1980 年代から 2010 年代まで」シュウゴアーツ（東京） 「彫刻を作る／語る／見る／聞く」東京国立近代美術館（東京） 「開館 15 周年記念展 生命の樹」ヴァンジ彫刻庭園美術館（長泉町、静岡）
2016	「蜘蛛の糸」豊田市美術館（愛知） 「創立 50 周年記念展示 芸術は森から始まる」愛知県立芸術大学資料展示館（長久手、愛知） 「世田谷美術館ミュージアムコレクションⅡ 神話の森 美と神々の世界」世田谷美術館（東京） 「生への言祝ぎ」大分県立美術館（大分） 「つかまえる風・水・森をめぐるイメージ〈木の造形セレクションⅠ〉」北海道立旭川美術館（旭川） 「新収蔵品展」豊橋美術博物館（愛知） 「思い出の中の揺らめき——J コレクション」名古屋市美術館（愛知） 「学芸員を展示する」栃木県立美術館（宇都宮）
2015	「開館記念展 vol.2 神々の黄昏」大分県立美術館（大分） 「第13回アートプログラム青梅2015」旧稲葉家住宅（東京） 「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿SUNDAYの隣」シュウゴアーツ（東京） 「引込線2015」旧所沢市第二学校給食センター（埼玉） 「大地の芸術祭 越後アートトリエンナーレ2015〈4人展：素材と手〉」清津倉庫美術館（十日町、新潟） 「アートフェア東京2015 特別企画 〈もの派〉から辿る20世紀」東京国際フォーラム（東京） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京） あいちトリエンナーレ地域展開事業「豊穰なるもの——現代美術 in 豊川」豊川市桜ヶ丘ミュージアム（愛知）
2014	「第12回アートプログラム青梅2014 まなざしを織る」BOX KI-O-KU（東京） 「福島ビエンナーレ2014——気」喜多方市美術館（福島） 「開館20周年記念MOTコレクション特別企画 コンタクト」東京都現代美術館（東京） 「1974年——戦後日本美術の転換点」群馬県立近代美術館（高崎市、群馬） 「Selected Works 村岡三郎を憶う——彫刻を中心に」ケンジタキギャラリー（名古屋） 「村岡三郎へのオマージュ」ギャラリー16（京都）

2013	「アイチのチカラ！戦後愛知のアート、70年の歩み」愛知県美術館（名古屋） 「第11回アートプログラム青梅2013 雲をつかむ作品たち」青梅市美術館（東京） 「一木一草に神をみる 自然と美術」島根県立石見美術館（島根） 「引込線2013」旧所沢市立第二学校給食センター（埼玉） 「コレクション2 戦後の彫刻：素材という観点から」国立国際美術館（大阪） 「ギャラリーショー」シュウゴアーツ（東京） 「ET IN ARCADIA EGO 墓は語るか——彫刻と呼ばれる、隠された場所」武蔵野美術大学美術館・図書館（東京） 「Re：Quest——1970年代以降の日本現代美術」ソウル大学美術館（ソウル、韓国） 「ミニマル ポストミニマル 1970年代以降の絵画と彫刻」宇都宮美術館（栃木） 「福岡現代美術クロニクル1970-2000」福岡市美術館（福岡）
2012	「サークル・オブ・アート」北海道立近代美術館（札幌） 「第10回アートプログラム青梅2012 存在を超えて」SAKURAFACOTRY（東京） 「Study 01——drawing」（東京芸術大学彫刻科第三研究室主催）渋谷画廊（東京） 「愛知の美術六十年展」安城市市民ギャラリー（愛知） 「立体力：仏像から人形、フィギュアまで」札幌芸術の森美術館（北海道） 「第1回キエフ国際ビエンナーレ アーセナル2012」Mystetskyi Arsenal（キエフ、ウクライナ） 「記録する視線 陳界仁／藤本由紀夫／田口和奈／戸谷成雄」シュウゴアーツ（東京）
2011	「第9回アートプログラム青梅2011：山川の間で」青梅市内（東京） 「所沢ビエンナーレ 引込線2011」所沢市生涯学習推進センター、旧所沢市立第2学校給食センター（埼玉） 「ふたつの太陽」シュウゴアーツ（東京）（イケムラレイコ企画） 「抱きしめたい！近代日本の木彫展」高岡市美術館（高岡、富山）/碧南市藤井達吉現代美術館（碧南、愛知）/広島県立美術館（広島） 「ヨコハマトリエンナーレ2011——OUR MAGIC HOUR」日本郵船海岸通倉庫（横浜） 「近代日本の美術」国立近代美術館（東京） 「宇・宙——原美術館コレクション展」ハラミュージアムアーク（渋川、群馬） 「G-tokyo2011」森アーツセンターギャラリー（東京）
2010	「所蔵作品展——鉄斎から現代まで」碧南市藤井達吉現代美術館（碧南、愛知） 「第8回アートプログラム青梅2010 循環の体」青梅市内（東京） 「ひろがるアート——現代美術入門篇」三重県立美術館（津） 「創造と回帰——現代木彫の潮流」北海道立近代美術館（札幌） 「油彩・現代美術」群馬県立館林美術館（群馬）
2009	「第7回アートプログラム青梅2009 空間の身振り」青梅市内（東京） 「ドローイング——思考する手のちから」武蔵野美術大学2号館 gFAL、FAL（東京） 「自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展」和歌山県立近代美術館（和歌山） 「所沢ビエンナーレ美術展引込線2009」西武鉄道旧所沢車両工場（埼玉） 「コレクション／コネクション——福岡市美術館の30年」福岡市現代美術館（福岡） 「どろどろ、どろん 異界をめぐるアジアの現代美術」広島市現代美術館（広島） 「シュウゴアーツギャラリーショー」シュウゴアーツ（東京）
2008	「福島現代美術ビエンナーレ 2008 YAMA——山、森、精霊、堆積、炭鉱」福島県文化セン

	ター、福島市街地（福島） 「仏教インスピレーション」小平市平櫛田中彫刻美術館（東京） 「TAMA VIVANT II 2008 イメージの種子美術が発芽するとき」多摩美術大学（東京）、みなとみらい駅地下3階コンコース（横浜） 「コレクション展3〈目撃者〉」芦屋市立美術館（兵庫） 「所沢ビエンナーレ・プレ美術展 引込線」西武鉄道旧所沢車両工場（埼玉） 「第7回まつしろ現代美術フェスティバル」松代藩文武学校（長野）
2007	「第5回アートプログラム青梅2007 出会いのよりしろ」青梅市内（東京） 「森のなかで」田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館、和歌山近代美術館（和歌山） 「第12回NHKハート展」日本橋三越（東京）他巡回 「20世紀美術探検——アーティストたちの三つの冒険物語」国立新美術館（東京）
2006	「第4回アートプログラム青梅2006 緑化する感性——街道を読む」青梅市内（青梅） 「縄文と現代：二つの時代をつなぐ『かたち』と『こころ』」青森県立美術館（青森） 「久万美春夏コレクション展 彫刻特集」町立久万美術館（久万高原、愛媛）
2005	「西から東から」シュウゴアーツ（東京） 「第20回平行芸術展 崩落の記譜法」小原流会館（東京） 「愛知県美術館開館50周年記念展 コレクションでたどる美術館50年の歩み」愛知県美術館（名古屋） 「建畠朔弥・戸谷成雄・土屋公雄」ギャラリー・プス（東京） 「開館10周年記念展 SPACE WALKING」入善町下山芸術の森 発電所美術館（富山） 「森のくにの物語—戸谷成雄「もうひとつの森へ」長野県信濃美術館（長野）
2004	「ART@AGNES アグネスホテル アートフェア展」アグネスホテルアンドアパートメンツ 東京（東京） 「木でつくる美術」群馬県立館林美術館（群馬） 「第2回円空大賞展」岐阜県美術館（岐阜）
2003	「シュウゴアーツ開廊記念展」シュウゴアーツ（東京） 「駒美展」駒ヶ根高原美術館（長野）
2002	「エモーショナル・サイト」佐賀町・食糧ビルディング（東京） 「TAMA VIVANT 2002」多摩美術大学ギャラリー（東京） 「ポータブル劇場 BOX ART 展」高知県立美術館（高知） 「未完の世紀——20世紀美術がのこすもの」国立近代美術館（東京） 「タカシマヤ美術賞展」日本橋高島屋（東京）他巡回
2001	「時の旅人たち——1980年以降の美術」愛知県美術館（名古屋） 「所蔵品展 戦後木彫の動向」北海道立旭川美術館（旭川） 「生きろ」クレラー・ミュラー美術館（オッテルロ、オランダ） 「ヘルシンキ・テレー湾プロジェクトに参加した8人の作家たち」現代彫刻センター（東京） 「ギャラリーズ・デビュー」ライスギャラリー by G2（東京）
2000	「日本美術の20世紀 美術が語るこの100年」東京都現代美術館（東京） 「アートドキュメント2000樹霊3人展——構造・振動・記憶 戸谷成雄、遠藤利克、土屋公雄」金津創作の森（あわら、福井） 「テレー湾地区日フィン共同環境芸術制作、合同ワークショップ」展（ヘルシンキ、フィン

	ランド) 「障(壁)」台湾国立歴史博物館(台北、台湾) 「韓国と日本の現代美術の断面 第3回光州ビエンナーレ」光州市立美術館(光州、韓国) 「人間+空間 第3回光州ビエンナーレ特別展」メインホール・アジア・セクション(光州、韓国) 「クロージング・ショー」佐谷画廊(東京) 「戸谷成雄／遠藤利克」島根県美術館(松江、島根)
1999	「開館30周年記念展：森に生きるかたち」彫刻の森美術館(箱根、神奈川) 「アート・ドキュメント'99——アジアの森から」金津創作の森(あらわ、福井) 「メディテーション——真昼の瞑想」栃木県立美術館(宇都宮) 「NCAF 名古屋コンテポラリーアートフェア／ケンジタキギャラリー」名古屋市民ギャラリー(愛知) 「JADA 展」洋画商協同組合、銀座洋協ホール(東京)
1998	「コレクションによる物語る美術アンソロジー〈本、死、モード、ジェンダー〉」栃木県立近代美術館(宇都宮) 「アート／生態系——美術表現の『自然』と『制作』」宇都宮美術館(宇都宮) 「わくわく！どきどき！サマー・ミュージアム!!」埼玉県立近代美術館(浦和) 「6人の作家による新作展：戸谷成雄、遠藤利克、村岡三郎、渡辺英司、杉戸洋、ヘルベルト・ハマック」ケンジタキギャラリー(名古屋) 「NCAF 名古屋コンテポラリーアートフェア／ケンジタキギャラリー」名古屋市民ギャラリー(愛知) 「コレクションによるテーマ展示 日本画を中心に」東京都現代美術館(東京) 「ネイチャー、ネイチャー：原美術館コレクション」ハラミュージアム・アーク(渋谷、群馬) 「人、自然、そして祈り in Japan」長野県信濃美術館(長野)
1997	「第5回国際コンテポラリーアートフェスティバル」東京国際展示場(東京) 「第9回インド・トリエンナーレ」ラリットカラ・アカデミー(ニューデリー、インド) 「日本現代美術展・青い水面展」韓国国立近代美術館(ソウル、韓国) 「WALL WORKS——戸谷成雄・遠藤利克・村岡三郎」ケンジタキギャラリー(名古屋) 「近代日本の美術の名作——100年の軌跡」東京国立近代美術館(東京) 「韓・日・中現代美術展〈接点〉」大邱廣域市文化芸術会館(ソウル、韓国) 「モン・ド・マルサン彫刻展——Le Japon Créations in-site 1997」モン・ド・マルサン市内の公共空間(ランド、フランス)
1996	「開館 10 周年記念特別展 コレクション 10 年の歩み 芸術と素朴」世田谷美術館(東京) 「美術を楽しむ時間 II 子どもの心で感じる美術展」伊勢丹美術館(東京) 「美術の内がわ・外がわ」板橋区立美術館(東京) 「日本の現代美術 50 人展：21 世紀への予感」ナビオ美術館(大阪) 「なぜ、から始める現代美術展」富山県立近代美術館(富山) 「木の現代造形」北海道立旭川美術館(旭川)
1995	「木の記憶・彫刻の記憶」札幌芸術の森美術館(北海道) 「6.トリエンナーレ・クラインプラスティック 1995」ウエスト LB フォーラム(シュツットガルト、ドイツ)

	「環流：日韓現代美術交流展」愛知県美術館、名古屋市美術館（愛知） 「ジャパン・トュデイ」（ルイジアナ近代美術館／デンマークなど北欧を巡回） 「戦後文化の軌跡：1945-1995」目黒区立美術館（東京）/広島市現代美術館（広島）/兵庫県立近代美術館（神戸）/福岡県立美術館（福岡） 「日本の現代美術：1985-1995」東京都現代美術館（東京） 「Invisible Nature 帰国展」ケンジタキギャラリー（名古屋）
1994	「コレクション展」町立久万美術館（久万高原、愛媛） 「立ちあがる境界」辰野町郷土美術館（長野） 「3rd. 北九州ビエンナーレ Quintessence」北九州市立美術館（福岡） 「断面（1979-1994）展」ハラミュージアムアーク（渋谷、群馬） 「アジアの創造力」広島市現代美術館（広島） 「死にいたる美術 メメント・モリ」栃木県立美術館（宇都宮） 「所蔵作品展1994年度第1期テーマ展示」愛知県立美術館（愛知）
1993	「金曜日のまればとたち、その1」なびす画廊（東京） 「くかたまり彫刻」とは何か」小原流会館（東京） 「ark of ART 美術の方舟」高知県立美術館（高知） 「日本現代彫刻の系譜——収蔵作品による」富山県立近代美術館（富山） 「大分現代美術展 '93——都市空間への提言・非常識²」（大分市） 「再制作と引用」板橋区立美術館（東京） 「第1回アジア・パシフィックトリエンナーレ」クイーンズランド・アートギャラリー（ブリスベン、オーストラリア） 「インヴィジブルネイチャー」プラハ城ロイヤルガーデン・ボールゲームホール（プラハ、チェコ）、ルードウィヒ美術館（ブダペスト、ハンガリー）、ルートウィヒフォーラム（アーヘン、ドイツ） 「戸谷成雄+山崎博」テンポラリースペース（札幌） 「90年代の日本——13人のアーティストの提言」ローマ市立フォルクローレ美術館（イタリア）、デュッセルドルフ市立美術館（ドイツ） 「00 コラボレーション：詩と美術」佐賀町エギジビットスペース（東京） 「眼差しの形象」テンポラリースペース（札幌）
1992	「愛知県文化センター モニュメントプロジェクト」愛知芸術文化センター（名古屋） 「TEMPVS VICTUM 生きられた80年代——MTM コレクションの40作家40作品」エスパス小原（東京） 「Topos, Ethnos 現代美術における文化のはざまをめぐって」かわさき IBM 市民文化ギャラリー（川崎、神奈川） 「都市と現代美術——廃虚としてのわが家」世田谷美術館（東京） 「彫刻なるもの」いわき市立美術館（福島） 「パリ・日本・メキシコ 埼玉県立近代美術館所蔵作品による」徳島県立美術館（徳島） 「NCAF 名古屋コンテンポラリーアートフェア-1992」名古屋市民ギャラリー（愛知） 「日本近現代木彫展——継承・そして新たなる地平」岡山県立美術館（岡山）
1991	「愛知県美術館 新収蔵作品展」愛知県文化会館美術館（名古屋） 「第27回今日の作家展'91 史としての現在——8人の作家と1人の批評家による展覧会」横浜市民ギャラリー（神奈川）

	「構造と記憶——戸谷成雄・遠藤利克・剣持和夫」東京都美術館（東京） 「現代日本美術の動勢——立体造形展」富山県立近代美術館（富山） 「今日の造形7 現代美術〈日本の心〉展」岐阜県美術館（岐阜） 「子供と現代美術シリーズ 箱の世界 do it yourself展」水戸芸術館 現代美術ギャラリー（茨城） 「1991・冬・MURAMATSU 新装記念パートII」村松画廊（東京）
1990	「Japan Art Today——現代日本美術の多様性」ストックホルム文化会館（スウェーデン）、シャルロットンボルグ展覧ホール（デンマーク）、ヘルシンキ市立美術館（フィンランド）、レイキャヴィーク市立美術館（アイスランド）、セゾン現代美術館（軽井沢、長野） 「木のニューウェイヴ——イコンの森の思索者たち」北海道立旭川美術館（旭川） 「第2回現代木刻フェスティバル」関市文化会館（岐阜） 「幻想の力——日本の近・現代美術から」宮城県立美術館（仙台） 「ミュージアムシティ天神 感性の流通——見られる都市、機能する美術」スペースメディアMA、イルパラッツォ（福岡） 「Bunka——Viewing 日本人作家7人展」ハーバート・パルマー・ギャラリー（ロサンゼルス、アメリカ） 「第4回オーストラリア彫刻トリエンナーレ」ヴィクトリア国立美術館（メルボルン、オーストラリア） 「渋川現代彫刻トリエンナーレ'90」渋川市総合公園（群馬） 「20世紀の彫刻アルプからザッキンまで」ギャラリー・アカデミア（ザルツブルグ、オーストラリア） 「ドローイング '90原画展」京二画廊（東京） 「芸術が都市をひらく——フランスの芸術と都市計画」茨城県つくば美術館（茨城）/国立国際美術館（大阪）他巡回 「シュトゥツキ2'90 ジャパン」（バーゼル、スイス） 「Is '90」国際彫刻センター（ワシントンDC、アメリカ） 「ナチュラル・オーダー」ハドソンリヴァー美術館（ニューヨーク、アメリカ） 「作法の遊戯——90年春・美術の現在」水戸芸術館 現代美術ギャラリー（茨城） 「プライマル・スピリット：今日の造形精神」ハラミュージアムアーク（渋川、群馬）、ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス、アメリカ）、シカゴ現代美術館（シカゴ、アメリカ）、フォートワース近代美術館（テキサス、アメリカ）、オタワ国立美術館（カナダ） 「現代彫刻の歩みⅢ〈1970年代以降の表現——物質と空間の変容〉」神奈川県立県民ホール・ギャラリー（横浜）
1989	「モダン・マスターズⅢ」ランケル・ヒュー・ウィリアムス社（ロンドン、イギリス）、キャビック市立美術館（アイスランド）、セゾン現代美術館（軽井沢、長野） 「第25回今日の作家展かめ座のしるし」横浜市民ギャラリー（神奈川） 「'89 アートイベント IN 札幌 界川游行」鬼窪邸（札幌） 「ジャパニーズウェイズ ウェスタンミーンズ/Japanese Ways, Western Means : Art of the 1980's in Japan」クイーンズランド・アートギャラリー（ブリスベン・オーストラリア） 「第20回ビエンナーレ・ミデルハイム・ジャパン」ミデルハイム野外彫刻美術館（アントワープ、ベルギー） 「日豪交換 現代日本美術展 アート・エキサイティング'89 現在を超えて」埼玉県立近代

	美術館（さいたま） 「Territoires d'Artistes : Paysages Verticaux」野外彫刻展、ケベック美術館（ケベック、カナダ） 「彫刻家たち展（アバカノビッチ、リー、戸谷）」アーノルド・ハースタンギャラリー（ニューヨーク、アメリカ） 「表現としての'70年代展」藍画廊（東京） 「佐谷画廊コレクション展」佐谷画廊（東京）
1988	「手で見る美術展」西武有楽町アートフォーラム（東京）、つかしんホール（尼崎、兵庫）、ふくやま美術館（広島）、大分県立美術館（大分） 「ROSC '88」（ダブリン、アイルランド） 「現代木刻フェスティバル」関市文化会館（岐阜） 「第43回ヴェニスビエンナーレ」ジヤルディーニ公園日本館（ヴェネツィア、イタリア） 「第3回インターナショナル・シュエボックス・スカルプチャー展」ハワイ大学ギャラリー 他アメリカ巡回
1987	「小布施系、留蔵、穴蔵、はたん場、そしてアート・サーキット」小布施堂（長野） 「渋谷現代彫刻トリエンナーレ'87」渋谷市総合公園（渋谷） 「アーティスト・ネットワーク・エキスパンデッド1987」福岡県立美術館（福岡） 「もの派とポストもの派の展開／1969年以降の日本の美術」西武美術館（東京） 「デッサン——予感の周辺」なびす画廊（東京） 「藍画廊移転記念三人展」藍画廊（東京） 「5人のドローイング展『点・線・面』」藍画廊（東京） 「'87 冬 MURAMATSU PART 1 展」村松画廊（東京） 「現代美術小品展」ギャラリーマロニエ（京都）、ワコール銀座アートスペース（東京） 「NEWZ BOX 展」NEWZ（東京）
1986	「開館五周年記念特別展——現代日本の美術 3 戦後生まれの作家たち 第二期〔立体〕」宮城県美術館（仙台） 「神奈川：芸術——平和への対話展」大倉山記念館（横浜） 「第6回試行する美術 国際小さな芸術展」山梨県立美術館（山梨） 「『藍画廊記念展 1981-1985』出版記念展」藍画廊（東京） 「発生機のデッサン——たとえばエタ・ダーム」なびす画廊（東京） 「モノログ・ダイアログ（戸谷成雄、前本彰子）」なびす画廊（東京） 「第1回安曇現代彫刻展イン穂高」穂高町民会館（長野）
1985	「方法の現在Ⅱ寓意的空間展」ギャラリー16（京都） 「CONTINUUM '85」ピナコテカギャラリー（メルボルン、オーストラリア） 「戸谷成雄・遠藤利克展」NEWZ（東京） 「第5回試行する美術『背後の解説』展」山梨県立美術館（山梨） 「海へ——応答のカイロス」淡路町画廊（東京） 「絵画と彫刻の新世代展」佐谷画廊（東京） 「CONTINUUM '85 PRE-EXHIBITION」かわさきIBM市民文化ギャラリー（川崎、神奈川県） 「Hitomi Uchida, Koichi Ebizuka, Shigeo Toya 3 人展」スーギャラリー（テグー、韓国） 「現代彫刻の歩み」神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）

1984	「NEWZ WEEK」 NEWZ（東京） 「空間——遊展」名古屋市博物館（名古屋） 「多数多様態展」梁画廊（京都） 「第4回平行芸術展」小原流会館（東京） 「バングラデッシュ・ビエンナーレ出品記念展」福岡市美術館（福岡） 「NEWZs：4人の批評家による8人の作家展」NEWZ（東京） 「戸谷成雄 vs 向井美恵『鮮烈なる断片——無限を見据え、カオスと渡り合う作為』のひとつ」ギャラリー葉（東京） 「現代美術5人展 '84」かわさき IBM 市民文化ギャラリー（川崎、神奈川）
1983	「第2回アジアビエンナーレ」 バングラデッシュ国立美術館（ダッカ、バングラデッシュ） 「言葉から……事・場へ」横浜市民ギャラリー（神奈川） 「現代日本：美術の展望」富山県立近代美術館（富山） 「NEWZ WEEK」 NEWZ（東京） 「'83記憶・I展」ギャラリーヤマモト（静岡） 「第3回浜松野外美術記録展」ギャラリー葉（東京） 「第3回浜松野外美術展」中田島砂丘（静岡） 「多数多様態展」おいし画廊（福岡）、シーサイドコヤマ（大分）、島田美術館（熊本） 「素材と空間展」福岡市美術館（福岡）
1982	「昭和57年度多摩美術大学芸術祭特別展」多摩美術大学（東京） 「前田一澄・戸谷成雄・倉重光則三人展」鎌倉画廊（東京） 「遠藤利克・戸谷成雄展」女子美画廊（東京）
1981	「『藍画廊 1975-1980』出版記念展」藍画廊（東京） 「Try・Angle '81」鎌倉画廊（東京） 「第1回平行芸術展」小原流会館（東京） 「様・式」神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜） 「第2回ハラ・アニュアル」原美術館（東京）
1980	「机上の現場」ルナミ画廊（東京） 「艶姿華彩」神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
1979	「Exhibition 入射角・反射角」埼玉会館（埼玉） 「Exhibition August'79」藍画廊（東京）、ギャラリー・ウェストベス（愛知） 「第六感」神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
1978	「'78 所沢野外美術展」所沢航空記念公園（埼玉）
1977	「Four Days in URAWA」埼玉会館（埼玉） 「京都アンデパンダン展」京都市美術館（京都）
1976	「YOKOHAMA '76 資料化展」神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜） 「EXHIBISM '76——〈分析〉と〈文節〉——」神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜） 「展・錯視〈さかだちのさかだちの〉」神奈川県立県民ホールギャラリー（横浜）
1975	「'75 Fall with in NAGOYA」愛知県文化会館美術館（愛知） 「YOKOHAMA '75」神奈川県立県民ホールギャラリー（名古屋） 「朝日美術展 '75」名古屋丸栄スカイル（愛知） 「京都アンデパンダン展」京都市美術館（京都）

パフォーマンスなど

2004	「アートドキュメント2004 錦帯橋プロジェクト」岩国市内（山口）
1997	「国際野外彫刻プロジェクト」グライスデール・フォレストミュージアム（イギリス）
1995	「国際野外彫刻プロジェクト」グライスデール・フォレストミュージアム（イギリス）
1989	「AMAプロジェクト現地制作」サンタバルバラ美術館（イタリア）
1986	クラシック音楽と現代美術 NEWS（東京）
1985	ノルトハイム演劇祭「心中天網島」美術制作 会場：ゲッティンゲン、ノルトハイム（ドイツ）
1984	「中博昭＋戸谷成雄 響きと視覚の出会い」NEWS（東京）
1983	イベント（蟬の声）浜黒崎海岸（富山）
1976	イベント（林）所沢市内（埼玉）
1975	イベント（竹藪）長久手市内（愛知）

受賞

2015	第39回中原悌二郎賞
2009	紫綬褒章
2004	平成15年度芸術選奨文部科学大臣賞 美術部門
2002	円空大賞、円空賞
2000	カンジュビエンナーレ アジア賞
1995	平櫛田中賞
1993	公益信託タカシマヤ文化基金第3回新鋭作家奨励賞
1990	長野市彫刻賞
1988	第1回朝倉文夫賞

パブリックコレクション

国内

北海道立旭川美術館（旭川、北海道）
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館（旭川、北海道）
青森国立大学 国際芸術センター青森（青森）
いわき市立美術館（いわき、福島）
石巻文化センター（石巻、宮城）
栃木県立美術館（宇都宮、栃木）
宇都宮美術館（宇都宮、栃木）
山中湖美術館（山梨）
群馬県立館林美術館（館林、群馬）
埼玉県立近代美術館（さいたま、埼玉）
川口現代美術館（川口、埼玉）
東京国立近代美術館（東京）

東京都現代美術館（東京）
世田谷美術館（東京）
台東区（東京）
東京大学駒場図書館（東京）
武蔵野美術大学 美術館・図書館（東京）
原美術館 ARC（群馬）
金津創作の森美術館（福井）
ヴァンジ彫刻庭園美術館（長泉、静岡）
愛知県芸術文化センター 愛知県美術館（名古屋、愛知）
愛知県芸術文化センター 愛知県図書館（名古屋、愛知）
愛知県立芸術大学（長久手、愛知）
名古屋市白河公園（名古屋、愛知）
豊川市桜ヶ丘ミュージアム（豊川、愛知）
豊橋市美術博物館（豊橋、愛知）
碧南市藤井達吉現代美術館（碧南、愛知）
至学館大学（旧中京女子大学）（大府、愛知）
長野市美和公園（長野）
富山県立近代美術館（富山）
和歌山県立近代美術館（和歌山）
国立国際美術館（大阪）
大阪新美術館準備室（大阪）
大阪中之島美術館（大阪）
芦屋市立美術博物館（芦屋、兵庫）
大原美術館（岡山）
井原市立平櫛田中美術館（井原、岡山）
広島市現代美術館（広島）
島根県立美術館（松江、島根）
高松市美術館（高松、香川）
相生森林美術館（那賀、徳島）
高知県立美術館（高知）
町立久万美術館（久万高原、愛媛）
福岡市美術館（福岡）
大分県立美術館（大分）
宮崎県立美術館（宮崎）

アメリカ

ヘス・コレクション（カリフォルニア、アメリカ）

イギリス

グライスデール・フォレストミュージアム

イタリア

サンタバルバラ美術館

オーストラリア

クイーンズランド・アートギャラリー（ブリスベン）

オランダ

アムステルダム市立美術館

ドイツ

ノイエ・ギャラリー（アーヘン）

バングラディシュ

シルパカラアカデミー

フランス

モン・ド・マルサン市